

平成29年度事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日まで)

I 当法人の現況に関する事項

(1)各事業別の経常収益

(単位：円)

事業別	予算額	決算額	増減
公1事業（競技力向上事業）	260,351,000	216,568,314	△43,782,686
公2事業（生涯スポーツ事業）	45,631,000	47,148,353	1,517,353
共通事業（公1・公2事業）	49,562,569	46,833,593	△2,728,976
公益目的事業会計合計	355,544,569	310,550,260	△44,994,309
法人会計	27,258,431	31,023,337	3,764,906
公益目的事業会計・法人会計合計	382,803,000	341,573,597	△41,229,403

(2)事業の概要

事業	概要
公1事業 （競技力向上事業）	優れたスポーツ選手の育成のための各種競技力向上対策事業及び指導者の資質向上を図る事業を実施した。
公2事業 （生涯スポーツ事業）	県民の誰もが生涯に亘ってスポーツに親しめるよう、市町村体育協会が中心となって実施する地域スポーツ推進事業への支援、及び地域スポーツを支える指導者の育成事業を実施した。

●事業の内容

1 競技力向上事業

(1)国体選手等の強化

加盟競技団体、中体連、高体連が実施する実践的な強化事業を支援し、国民体育大会・全国中学校体育大会・全国高等学校体育大会等に参加する選手の競技力向上を図った。

年間を通じた練習会・合宿・遠征等に係る選手及び指導者の交通費・宿泊費・会場使用料及び一部競技用消耗品を対象経費とした補助金交付を行った。

また、平成29年度に南東北3県（宮城、福島、山形）で開催された全国高等学校総合体育大会での選手強化を図るため、高体連に対して特別強化支援を行った。

さらに、戦術・戦略の分析を核とした強化体制の構築を図るため、研修会を実施するとともに強化分析担当の育成事業等に取り組む12の競技団体に対して、補助金の交付を行った。

(2)ジュニア選手の育成強化

○国民体育大会の安定的な成績の維持と、世界を舞台に活躍する選手を育成するために、優れた素質を持つジュニア選手を早期に発掘し、一貫した指導体制のもと、系統的かつ継続的な育成プログラムを展開するトレーニングセンター事業を実施した。

実施競技団体 14団体

(スケート, アイスホッケー, ボウリング, 陸上, ホッケー, ボクシング, レスリング, バレーボール, 相撲, フェンシング, バドミントン, ラグビーフットボール, なぎなた, ハンドボール)

○スポーツを通して復興に向かう宮城を元気づけるとともに, 将来のトップアスリートやオリンピックメダリストの育成を目指し, 「みやぎジュニアトップアスリートアカデミー」事業の実施に協力した。

協力競技団体 28団体

(陸上競技, アーチェリー, トライアスロン, ライフル射撃, 自転車競技, セーリング, テニス, ウェイトリフティング, 水泳, カヌー, ボート, バレーボール, ボクシング, フェンシング, レスリング, バドミントン, スケート, アイスホッケー, ボブスレー・リュージュ, 山岳, ソフトボール, ラグビーフットボール, ボウリング, 剣道, 相撲, なぎなた, 銃剣道, ハンドボール)

(3)ジュニア指導者の育成

ジュニア選手層の競技力向上をサポートする指導者の資質向上を図るため, ジュニア選手とその指導者の研修会を実施した。

開催期日 平成30年3月3日

会場 岩沼市総合体育館

参加者 指導者及び小学生(3年~6年生)選手

(4)国民体育大会への選手団派遣

第72回国民体育大会本大会

○本大会会期前実施競技(水泳・ビーチバレーボール・弓道・カヌー)

開催期日 平成29年9月9日~17日

会場 愛媛県松山市・伊予市 高知県高知市・本山市

○本大会(正式競技35競技, 特別競技2競技)

開催期日 平成29年9月30日~10月10日

会場 愛媛県下・高知県芸西村・兵庫県三木市

本大会出場人数 本部役員, 監督, 選手 合計631名

男女総合成績(天皇杯) 34位 得点842.0点

女子総合成績(皇后杯) 37位 得点462.5点

第73回国民体育大会冬季大会

○スケート競技会

開催期日 平成30年1月28日~2月1日

会場 山梨県富士吉田市・甲府市

○アイスホッケー競技会

開催期日 平成30年1月27日~2月1日

会場 神奈川県横浜市

○スキー競技会

開催期日 平成30年2月25日~28日

会場 新潟県妙高市

冬季大会出場人数 本部役員, 監督, 選手 合計104名

(5)東北総合体育大会への参加

第44回東北総合体育大会（国民体育大会東北ブロック大会）

○主会期

開催期日 平成29年8月18日～20日

○主会期外

開催期日 平成29年6月18日～12月10日

会場 秋田県下 他県

○国体冬季大会フィギュアスケート予選会

開催期日 平成29年12月2日～3日

会場 千葉県千葉市

出場人数 本部役員，監督，選手 合計1,015名

(6)医科学サポート

第72回国民体育大会参加選手・監督を対象としたアンチドーピング教育・啓発研修会

開催期日 平成29年9月20日

会場 宮城県自治会館 202・203会議室

講師 高橋 周 氏（東あおば整形外科 院長）

(7)強化環境の整備

国民体育大会参加選手を対象とする強化事業に対し，県立スポーツ施設の使用料負担の軽減を図った。

(8)表彰

宮城県スポーツ合同表彰式（宮城県・高体連・中体連との合同表彰式）

開催期日 平成30年2月3日

会場 宮城県庁2階 講堂

受賞者数 個人 91名

団体 13団体

2 生涯スポーツ事業

(1)地域スポーツの普及支援

「宮城県スポーツ推進計画」の施策の柱である「生涯にわたるスポーツ活動の推進」を図るため，市町村体育協会が実施する地域スポーツクラブ普及推進事業に対し支援を行った。

実施市町村体育協会 16市町

(2)総合型地域スポーツクラブの育成・支援

1. 宮城県から委託を受け，「みやぎ広域スポーツセンター事業」を実施した。

平成30年3月31日現在のクラブ数 49クラブ（11市12町）

主たる事業内容

ア. 総合型クラブ設立・育成業務

・未設置市町村及び未設置市町村内各種団体支援

（相談・訪問回数25回）

・設置済市町村支援（相談・訪問回数16回）

・総合型クラブ支援（相談・訪問回数71回）

・先進クラブ視察支援（実施回数2回）

- ・講師派遣事業（年間を通し12団体に講師を派遣）
- ・トップアスリート派遣事業（実施回数4回）
- イ．総合型クラブ普及・啓発業務
 - ・広域スポーツセンターホームページ運営管理
 - ・総合型クラブガイド作成（500部作成）
- ウ．総合型クラブ指導者育成業務
 - ・総合型クラブ運営研修会・連絡会
（アシスタントマネジャー養成講習会・スポーツリーダー養成講習会・クラブ連絡会）
 - ・研修会派遣（東北ブロッククラブネットワークアクション2017in山形）

2．県体育協会の総合型地域スポーツクラブ設立に対する独自事業として、希望する市町村体育協会に対し、総合型地域スポーツクラブ設立準備補助事業を行った。
実施市町村体育協会 仙台市体育協会，東松島市体育協会

(3)公認スポーツ指導者の育成

- 公認指導員養成講習会（専門科目）
実施競技団体 軟式野球，アイスホッケー，空手道，山岳競技 参加者数80名
- スポーツリーダー養成講習会
開催期日 平成29年6月3日～4日（広域委託）
会場 仙台市 東京エレクトロンホール宮城
- アシスタントマネジャー養成講習会（広域委託）
開催期日 平成29年7月1日～2日
会場 仙台市 東京エレクトロンホール宮城
- スポーツ指導者研修会
第1回（更新義務研修）
開催期日 平成29年6月11日
会場 仙台市 ホテル法華クラブ仙台
第2回（高体連研究部会合同開催）
開催期日 平成29年11月22日
会場 仙台市 茂庭荘

(4)スポーツ少年団の育成

スポーツ少年団の組織充実に努め、少年団の自主性を尊重しつつ多岐に渡る事業を支援する。（スポーツ少年団事業報告書参照）

(5)スポーツ指導者協議会の事業

- ①支部運営事業
実施支部 2団体（東部地域，仙台地域）
- ②研修会事業
宮城県スポーツ指導者協議会研修会（更新義務研修）
開催期日 平成30年3月4日
会場 仙台市 ホテル法華クラブ仙台
- ③広報事業
「宮城県スポーツ指導者協議会会報」の発行

(6)市町村体育協会の充実

○市町村体育協会が実施する研修会に対する助成。

実施ブロック体育協会 7ブロック

○市町村体育協会全体研修会

開催期日 平成30年1月16日

会場 ホテル白萩

(7)広報活動の充実

・体協みやぎ第11号の発行 発行部数1,500部

・賛助会員向けに「賛助会笑顔通信」を発行した。(No.17~18号)

3 その他

(1)直前3事業年度の財産及び損益状況

(単位：円)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (当該事業年度)
経常収益	283,581,851	305,537,880	294,649,136	341,573,597
経常費用	291,417,262	307,880,249	293,513,337	344,837,847
当期経常増減額	△7,835,411	△2,342,369	1,135,799	△3,264,250
正味財産期末残高	180,352,119	178,009,750	179,145,549	175,881,299

(2)会員に関する事項

種類		当年度末	前年度末	増減
正会員	加盟団体	90	90	0
	公認スポーツ指導者	766	782	△16
登録会員(スポーツ少年団)		31,218	31,720	△502
賛助会員	法人等	44	45	△1
	個人	63	53	10

(3)職員に関する事項

平成30年3月31日現在14名 ※ ()内は人数

事務局長(1), 事務局次長(1), 企画総務課長(1), 事業課長(1), 事業推進係長(1)

一般事務(常勤7), 一般事務(臨時1), クラブアドバイザー(1)